

2006年10月31日

## 百五銀行、三重交通とのエネルギー商品デリバティブ 取引開始に付いて ～地方における新たなソリューション・ビジネスの展開～

三菱商事は、株式会社百五銀行(本店:三重県津市、頭取:前田肇)の媒介を通じて、三重交通株式会社(本社:三重県津市、社長:奥田卓廣)とエネルギー商品デリバティブ取引を開始します。

当社と百五銀行は、本年2月にエネルギー商品デリバティブ取引の媒介契約を締結し、当社のデリバティブ機能を用いた価格ヘッジと百五銀行の地元優良企業に対するネットワークを活用した新しいソリューション・ビジネスを三重県内で共同展開してきました。

その中で今回、三重県最大手のバス会社である三重交通向けにエネルギー商品デリバティブ取引を11月から開始する事で合意し、当社、百五銀行、三重交通の3社にて契約書を締結しました。

本取引は、3社がそれぞれの機能を提供し合い、地方の潜在的なニーズを掘り起こし、新たなソリューション・ビジネスに結び付けるという地方経済活性化の観点からも画期的な取り組みです。即ち、三重県最大手の地方銀行である百五銀行の高い信用力によるマーケティングを通じ、地元優良企業である三重交通の抱えるバス燃料費軽減という潜在的需要を捉まえ、このニーズを国際金融やエネルギー分野での長年の実績に基づいた当社のデリバティブ機能を使って解決する、という事業スキームです。

具体的なスキームは、次の通りです。

- ・ 百五銀行は、当社に対して、両社間のエネルギー商品デリバティブ取引に関する媒介契約に基づき、三重交通を相手先として紹介し3社にて取引確認書を締結。これに基づき、当社と三重交通は実際の取引を開始する。
- ・ 当社と三重交通との間のデリバティブ取引は、原油価格のスワップ取引と称する取引。この取引により、三重交通はバス燃料である軽油の仕入れ価格が原油に連動し変動しても当社との間で原油価格を固定化することによって上昇リスクを抑える事が出来る。
- ・ 総取引数量は12,500KL。(取引における基本数量と基本期間は2,500KL、5年間。)

当社は、約3年前に英国ロンドンに全額出資のエネルギー商品デリバティブ(金融派生商品)事業会社であるペトロ・ダイヤモンド・リスク・マネジメント社を設立、長年に亘り国内外のエネルギー分野で培ってきた幅広い実績と高い信用力を活かし、デリバティブを用いたエネルギー・リスク・マネジメントに関するソリューション事業を展開しております。現物取引とデリバティブ取引をパッケージとして提供するなど顧客のニーズに応じた新しい取り組みを構築し、事業開始以来国内外

の約 180 社と取引を行なっています。

今回のスキームも単なるデリバティブ取引ではなく、有力な地方銀行と業務提携を行い、優良な地元企業の潜在的なニーズを汲み上げ、その解決策として自らの機能であるエネルギー商品デリバティブを提供するという取り組みです。百五銀行としては、地方銀行としての機能強化と多様化を図る事が出来、三重交通との一層の取引拡大が期待できます。また、三重交通は、ここ数年の原油価格高騰に伴い多くの地方バス会社が燃料高に苦しむ中、原油高の局面に於いても燃料調達コスト低減を図る事が出来、一層の経営安定化に繋がります。

当社は、この様なデリバティブ取引を通じた地方との取り組みを他の地域でも積極的に展開しており、今後共一層の拡大が期待出来るものと考えております。

以上